

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



小林市元気なまちづくり支援補助金  
平成26年度の「元気なまちづくり支援補助金」に6団体  
「NPOパートナーシップ創造事業補助金」に2団体を採択

市では、まちづくりや、市と協働で市民のニーズにあった活動を行う団体やNPOを支援する「元気なまちづくり支援補助金」と「NPOパートナーシップ創造事業補助金」を設けています。今年度はそれぞれ

6団体と2団体から申請があり、公開選考会を行いました。選考委員会による審査の結果、以下の団体の事業が採択されました。

問 市民協働課 Tel.23-1148

◆元気なまちづくり支援補助金（成長期はぐくみ支援の部）

（単位：円）

No	団体名	事業名	総事業費	うち補助金
1	シネマ倶楽部スバル座	シネマ倶楽部スバル座（映画上映サークル）	420,000	243,000
	事業概要	映画館のない小林市で、映画の上映会を開催する。毎回違うテーマの作品を上映。		
2	北きりしま移住支援センター	移住支援で元気なまち発見	420,000	280,000
	事業概要	移住を考えている人の支援を行う。一時滞在の支援や、交流によってお互いに理解を深める。		
3	市民団体カタロウ会	「霧島山麓そば処こばやし」	306,000	196,000
	事業概要	手打ちそばの講習会や食の振る舞いなどを通し、地域農産物をテーマとしたまちおこしを行う。		
4	有機農法によるホンモノ米づくりプロジェクトチーム	有機農法によるホンモノ米づくりプロジェクトチーム	245,000	150,000
	事業概要	有機農法による米づくりの研究し、地域の安心安全な食生活環境の改善に取り組む。		
5	NPO法人エコワールドきりしま	小林市市民活動団体の情報発信力意識啓発事業	290,000	200,000
	事業概要	市民団体を対象とした研修や、情報のネットワーク化とサポート体制づくりを確立する。		

◆元気なまちづくり支援補助金（自立期はばたき支援の部）

（単位：円）

No	団体名	事業名	総事業費	うち補助金
1	小林市楽しい家庭菜園講座研究会	小林市楽しい家庭菜園講座研究会	393,000	291,000
	事業概要	有機栽培による安心安全な野菜づくりなどを通し、有機農業モデルタウンとしての素地を確立したい。また、小学校や地域などで野菜、石けん、ポカシづくりを行い、食についての理解を広げる。		

◆NPOパートナーシップ創造事業補助金

（単位：円）

No	団体名	事業名	交付内定額
1	NPO法人みらい	小林市放課後児童クラブ指導員研修会	290,000
	事業概要	市内放課後児童クラブの指導員の資質向上と、関係者の児童保育への理解を目的に研修会を行う。	
2	小林元気クラブ	小林元気クラブ「健康教室」開催事業	350,000
	事業概要	高齢者の健康維持や元気ある地域づくりのため、公民館で生涯スポーツや世代間交流を行う。	

# 協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

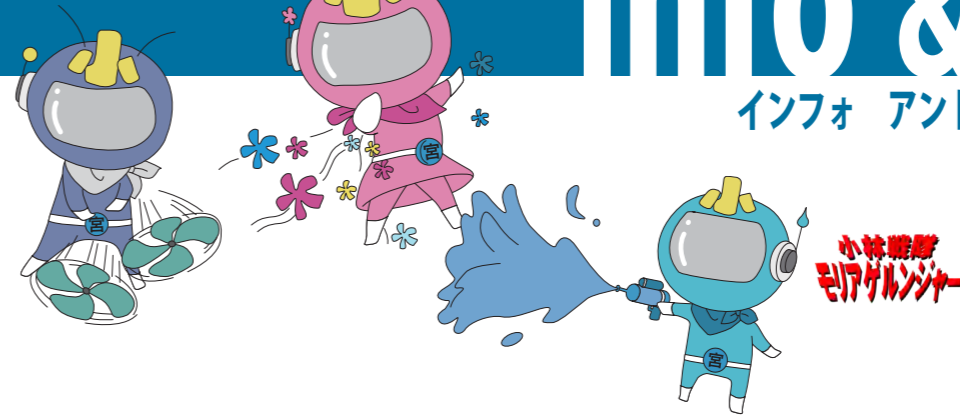
小林競馬  
リアゲルンジャー

も応援。

こばやし協働

# Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓華さんが（当時・永久津中3年生）小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。



認知症対策  
「水分を取り適度な運動を」  
家族で治す認知症講演会



「社会交流も予防に効果がある。老人クラブなどの活動に積極的に参加してほしい」と竹内さん

国際医療福祉大学大学院教授で、市の認知症あんしん生活実践塾講師を務める竹内孝仁さんによる「家族で治す認知症講演会」が、6月6日、文化会館で開催されました。市民ら262人が参加し、認知症の基礎知識や予防法などを学習。竹内教授は、毎日1500mlの水分を取り、30分以上のウォーキング（運動）、栄養のある食事が症状の緩和と予防に効果があるとし、「家族の力でこの習慣を実践してほしい」と呼びかけていました。



防災  
地域で協力し施設守ろう  
特養「美穂の里」で避難訓練

須木の特別養護老人ホーム美穂の里で土砂災害を想定した避難訓練が行われました。施設職員、消防団や住民など119人が参加。訓練は、まず危機管理課が、土砂災害警戒情報が発表されたことを伝達。連絡を受けた美穂の里では、施設職員を中心に入所者を迅速に避難させました。高津佐雅弘施設長は、「もし災害が起きた場合、地域の協力がなければ避難は難しい。今後も地域の見守りをお願いしたい」と話していました。



施設職員を中心に入所者を避難。訓練後は、講習会もあり、土砂災害の知識と対策を学びました